



かけはし

令和4年9月（第6号）

公益財団法人 豊島修練会

事務局：成美教育文化会館（内）

TEL: 042-471-6600 FAX: 042-473-4590

HP「成美教育文化会館」で検索

今宵は「月」にまつわるお話

月には「新月^{しんげつ}」「三日月^{みかづき}」「満月^{まんげつ}」「上弦の月^{じょうげんのつき}」「下弦の月^{かげんのつき}」という区別があります。「新月」というのは、見えない月のことです。

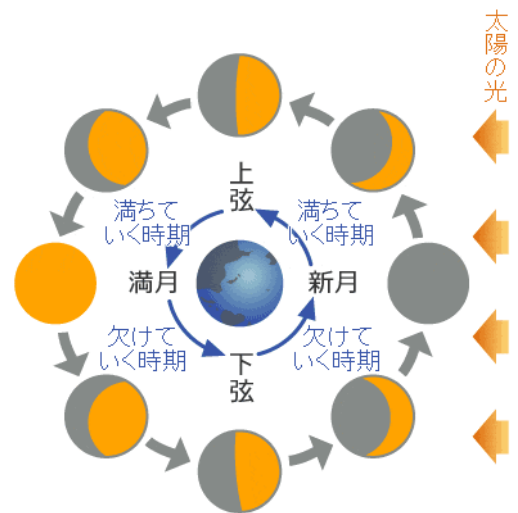
小学4年生は、理科で、「三日月」「半月^{はんげつ}」「満月」の違いを学びます。この時は「上弦・下弦」という言葉はできません。実は、同じ「半月」でも、これから満ちていく半月と、これから欠けていく半月とでは、欠けている部分も、見える時間も大きく違います。「上弦の月」と「下弦の月」をきちんと区別することができれば、今までよりも少し、月を眺める楽しみが増すことでしょう。（小学6年生では、月と地球の関係を詳しく学習します。）

「上弦の月」はこれから満ちていく月のことです。お昼ごろに東の空に出て、真夜中に西の空に沈みます。また、「下弦の月」はこれから欠けていく月のことです。真夜中に東の空に出て、次の日のお昼ごろに西の空に沈みます。よく見かける月の図では、左側が欠けているものを上弦の月、右側が欠けているものを下弦の月として紹介していますが、何度聞いても、右が上弦だったか左が上弦だったか、迷ってしまいます。

上弦と下弦を迷わず区別するには、これから沈もうとする月で比べればいいのです。月を弓に見立て、沈む直前に「弓の弦」にあたる部分が、上に来るのが上弦の月、下に来るのが下弦の月というわけです。これなら、間違えることはありません。

上弦の月、下弦の月という名前には、もうひとつ別な説もあります。上旬・中旬・下旬という言い方がありますが、これと同じように、月が満ちていくときだから上、満月を過ぎて月が欠けていくときだから下だというものです。

今年の9月の満月は10日です。旧暦の8月15日の夜（十五夜）に見える月を「中秋の名月」と呼び、今年（2022年）は9月10日が丁度その日にあたります。この日は今でも「十五夜の月」として親しまれ、ススキや団子をお供えして月を眺める習慣が残っています。地方によっては芋をお供えするところがあり、「芋名月（いもめいげつ）」とも呼ばれています。（T.Y.）



▲ 月面着陸に成功したアポロ11号の飛行士だったバズ・オルドリン氏が着用していた宇宙服がオークションに出品され、高額で落札されたことがニュースになりました。

また、ケネディ宇宙センターから、無人の月探査用大型ロケットが近日中に打ち上げられる予定です。これは、有人月探査「アルテミス計画」の第1弾となるそうです。

月は知ってか知らずか、今宵はどんな形を見せてくれるのでしょうか。